

神戸海星女子学院大学中期計画 2020～2024

○ 建学の精神

真理と愛に生きるというキリスト教的価値観に基づき、人を支え、社会に奉仕する女性の育成を目指す。

○ 教育理念

真理を探究して専門分野の学問を学びながら、知性と感性を身に付け、世界的視野に立って考え、良識をもって判断し行動できる女性、また、自らが神から愛された存在であることを知り、人を愛し、人を支え、社会に奉仕することのできる女性の育成を目指す。

育成する人格的素養

○ KAISEI パーソナリティ

Kindness (おもいやり)	他者を思いやり、
Autonomy (自律)	自己を律し、
Intelligence (知性)	知性と
Service (奉仕)	奉仕の精神に富み、
Ethics (倫理)	正しい倫理観と
Internationality (国際性)	豊かな国際性をもった女性に

	教育分野	学生支援	研究分野	社会貢献	大学運営
ビジョン	人口減少、AI 技術の進化、グローバル化の進展等により急速に変化するこれからの社会に他者と協働しながら貢献することができる人材を育成するために、キリスト教小規模大学の長を生かした質の高い教育を実践する。	学生一人ひとりが充実した学生生活を過ごすことができるよう学生生活全般における支援を行う。また、経済的理由や障がい等による理由で、学業を続けることが困難な学生や多様な言語的文化的背景をもつ学生等が安心して学業に励み続けることができる環境を整備する。併せて、卒業と同時に希望する仕事に就くこと	質の高い専門教育を実践するため、また、将来にわたって社会に貢献する意欲と能力を備えた人材を育成するため、さらに、地域社会と協力して地域の発展に資するための研究活動を促進する。	学生の学修成果及び大学の教育成果を地域社会に還元するとともに、研究を通して地域と連携し、協力して地域の発展を支える。	建学の精神に則り、教学の主体性を尊重しつつ、社会からの期待に応える大学として発展し続けるため、その持続的な発展を保証する組織体制、人事制度、財務基盤を構築する。

		ができるよう入学時から体系的なキャリア教育を大学内で連携し実施するために計画的、段階的、個別的な支援体制を整える。			
戦 略 ビジョンに 向けた戦略	<ul style="list-style-type: none"> 1 教育の質的向上 2 学修成果の可視化及び情報公表の促進 3 Society 5.0 への対応 4 グローバル化の推進 5 キリスト教小規模大学としての独自性の促進 6 学生の社会貢献活動の推進 7 円滑な高大接続 	<ul style="list-style-type: none"> 1 退学率減少のための支援体制の強化 2 経済的に修学が困難な学生に対する奨学金制度・授業料減免制度のさらなる支援と充実 3 学生の満足度の向上 4 ダイバーシティ化に向けた制度の策定 5 キャリア支援の強化 6 卒業生との連携の構築 	<ul style="list-style-type: none"> 1 研究環境の整備、推進、評価 2 科研費等、競争的研究資金の獲得 3 研究成果の社会的還元 4 学科横断による学際的研究 5 女性のキャリア形成のための研究促進 	<ul style="list-style-type: none"> 1 社会人学生の受け入れ (大学の教育成果を地域社会に還元) 2 生涯学習事業の強化及び推進 3 ボランティア活動の支援 (学生の学修成果を地域社会に還元) 4 一般に開かれた講演会等の充実 5 地域や産業界の課題に取り組むプロジェクトの推進 	<ul style="list-style-type: none"> 1 内部質保証の推進 2 効率的で機動的な組織づくり 3 教職員の人事制度の見直し 4 財政の健全化と安定的な経営基盤の確立 5 教育研究を支える施設・設備の充実 6 戦略的広報・情報公開の強化 7 同窓会、後援会との関係強化
施 策 各 戦 略 の 中 身	<ul style="list-style-type: none"> 1-(1)ディプロマ・ポリシー及びカリキュラム・ポリシーとカリキュラムの整合性に関する定期的な点検・評価、改善・向上に向けた取組の実施 1-(2)学修の順次性、専門分野の学問の体系性を考慮したカリキュラムの編成、ナンバリングの実施、カリキュラム・ツリーの作成及びHP等での公開 	<ul style="list-style-type: none"> 1-(1)下宿生、留学生等の交流会の定期的な実施 1-(2)学生課、学生相談室、サポートルームの連携強化 1-(3)外部専門機関（相談機関、医療機関等）との連携 	<ul style="list-style-type: none"> 1-(1)教員の研究時間確保のための大学業務スリム化と担当ルールの再検討 1-(2)研究・出版助成金の支給 1-(3)学内研究発表会の開催 1-(4)研究成果の適正な評価システムの構築 	<ul style="list-style-type: none"> 1-(1)長期履修学生受入れの検討 1-(2)短期履修学生受入れの推進 	<ul style="list-style-type: none"> 1-(1)教学マネジメントの確立 1-(2)教学 IR 体制の確立 1-(3)内部質保証システム自体の適切性に関する定期的な点検・評価、改善・向上に向けた取組の実施

<p>1-(3)アクティブ・ラーニングによる授業科目の割合の増加（全科目の7割以上へ）</p> <p>1-(4)学生による授業評価結果の分析・検討、授業改善への利用、学生へのフィードバック</p> <p>1-(5)FD活動の強化</p> <p>1-(6)教育に関する自己点検・評価、改善・向上に向けた取組の実施</p> <p>1-(7)大学院との連携（学生の学びへの意欲向上、授業科目の質的向上）</p>				
<p>2-(1)アセスメント・ポリシーの策定及びHP等での公開</p> <p>2-(2)学修成果の測定を目的とした学生調査の推進</p> <p>2-(3)卒業生、就職先への意見聴取</p> <p>2-(4)教務課・IR室の連携の推進</p>	<p>2-(1)学生課・教務課・担当教員（担任等）間の連携の強化</p> <p>2-(2)奨学生の学修状況の把握</p> <p>2-(3)奨学金ガイダンスの実施及び奨学生の目的意識の向上を図るための教職員による定期的な面談の実施</p>	<p>2-(1)競争的研究資金に関する学内説明会やセミナー、公募情報の提供、提出書類作成の支援</p> <p>2-(2)公的研究費の適正使用及びコンプライアンス教育の徹底</p>	<p>2-(1)多様化するニーズに対応するための生涯学習講座のさらなる充実（学科の特質を生かした講座など分野の拡大）</p> <p>2-(2)生涯学習講座受講生の図書館閲覧利用制度のさらなる充実</p>	<p>2-(1)学長を支える執行部組織の強化</p> <p>2-(2)事務組織の適正な人事配置</p> <p>2-(3)各事務部局の組織強化</p>
<p>3-(1)ICTを活用した教育の促進</p> <p>3-(2)情報リテラシー科目の内容の見直し及びAIに関する素養を養う科目の開講</p> <p>3-(3)共通科目における理数系科目の増設</p>	<p>3-(1)海星教学調査及び卒業生アンケートの見直しの実施</p>	<p>3-(1)地域貢献を目的とした生涯教育講座、講演会の開催</p> <p>3-(2)教員の学界、一般社会に対する研究成果の発信、還元を適正に評価するための評価システムの構築</p> <p>3-(3)公立小学校、公民館への児</p>	<p>3-(1)ボランティア活動を希望する学生に対する国内・国外における災害支援、地域貢献等、個々の学生の関心に応じた様々な情報の提供</p>	<p>3-(1)教員人事政策の確立（年齢構成の適正化、教員各職の役割と任用基準の明確化）</p> <p>3-(2)教員評価制度の充実</p> <p>3-(3)FD・SD活動の強化</p>

			童英語教育（キッズ・イングリッシュ）等、現行の出張授業に対するさらなる活動促進と支援		3-(4)事務職員人事計画の策定（採用、異動） 3-(5)事務職員の能力開発支援
4-(1)外国人留学生（短期留学生を含む）の割合の増加（全学生の3～5%） 4-(2)第二言語としての日本語科目の開設 4-(3)外国の大学への派遣学生及び海外プログラム参加学生の増加（全学生の70%） 4-(4)海外の協定校の拡大 4-(5)留学支援金・奨学金制度の見直し（支給額の種類を増やすなど） 4-(6)英語のカリキュラムの強化	4-(1)障がいのある学生への支援体制の構築 4-(2)留学生への支援体制の構築 4-(3)ダイバーシティ教育の実施	4-(1)2学科制の特色を生かした学際的共同研究の促進（ex.心理こども学科「初等教育」と英語観光学科「英語教育」） 4-(2)在学生に対する研究成果の適用、一般社会に対する還元	4-(1)学内で開催する講演会の一般市民への公開 4-(2)学外での講演活動の促進	4-(1)「大学の収支均衡」：「経常収支」の黒字化 4-(2)中期財政計画の策定 4-(3)入学者確保 4-(4)予算の精査・検証（支出及びその配分の効率化、費用対効果の可視化） 4-(5)財務比率の活用と目標の設定	
5-(1)キリスト教研修の単位化 5-(2)カトリック大学との連携 5-(3)キリスト教的価値観を学ぶ環境の整備	5-(1)低年次からのキャリア教育支援 5-(2)インターンシップ、クラブ活動、その他の課外活動への支援 5-(3)神戸市内の企業との連携の推進 5-(4)企業説明会の実施 5-(5)資格取得支援のさらなる充実 5-(6)社会人メンター制度導入の検	5-(1)在学生、卒業生を対象とする女性のキャリア形成に向けた、本学既存研究所等の研究支援拠点としての活用 5-(2)各人の自己実現を促すための国内外他大学との連携による修士・博士課程への進学支援	5-(1)大学コンソーシアム神戸をプラットフォームとした地域や企業との取り組みへの参画	5-(1)教室等のICT化及び主体的な学びを促進するラーニング・コモンズの設置 5-(2)学生生活の環境の改善に向けた施設設備の更新 5-(3)財務状況を踏まえた施設改修計画の策定	

		討	5-(3) 将来的に社会・教育界等においてリーダーシップを有する人材を育成し、各人の研究成果の社会的還元を支援するという長期計画を視野に入れた基礎の構築		5-(4) 図書館棟、2号館の施設の適正化
6-(1) 社会貢献活動に関する学修及び発表の機会の提供	6-(1) 卒業生、在学生、教職員との定期的な接点の創設及び継続的な交流の推進				6-(1) ブランド力強化に向けた広報の開拓 6-(2) ステークホルダーに対する戦略的・効果的な広報戦略の策定及び実施 6-(3) 情報公開への真摯な対応による社会から信頼される学院の実現
7-(1) 協定校等の生徒に対する英語 (4 技能対策、外部試験対策等)の連続講座の実施 (本学又は高校での実施で教員の参加も可。) 7-(2) 高校生のモチベーションアップや教員の生徒指導での難しい対応に関する心理学の講座の提供					7-(1) 同窓会との連携強化 (同窓会役員との定期的な懇談会の実施、同窓生への学報の送付等) 7-(2) 後援会との連携強化 (後援会役員との定期的な懇談会の実施等)